



## 基調講演会「食と脳」

- 講師/脳科学者 茂木 健一郎氏
- 座長/鈴鹿短期大学長 佐治 晴夫氏

食事の意義は、栄養素という視点だけでなく、「脳の栄養」の観点も大切であると説明されました。また、美しい盛り付けが美味しさを一層引き立たせる「ブライミング効果」や、誰かと一緒に食べることで共感回路が作用し、美味しさが何倍にもなることなど、大変興味深いお話に、来場者の方々は聞き入っていました。



## ハンドマッサージ体験

三重県立看護大学の伊藤薫先生と万協製薬(株)の社員が「熊野古道乳液」を使って、来場者にハンドマッサージを体験していただきました。心地よい乳液の香りと手と腕へのマッサージによりリラックスした気分を味わっていただきました。

## シンポジウム「美しく食」

- モデレーター/佐治 晴夫氏
- シンポジスト/茂木 健一郎氏
- 矢野 憲一氏 (NPO法人五十鈴塾塾長)
- 西村 訓弘氏 (三重大学大学院医学系研究科教授)

シンポジウムでは、矢野塾長が伊勢神宮での神様への食事の献上について、西村教授が食の高付加価値化による地域社会の活性化について話され、茂木先生を交えて活発な討論が展開されました。



## メディカルバレーフォーラム2010

# 食と健康

### ～美し国からの提言～

平成22年2月26・27日、三重県営サンアリーナにおいて、「メディカルバレーフォーラム2010」を開催しました。今回のテーマは、「食と健康～美し国からの提言～」で、心身共に健康になるための参考として頂くことを目的として開催しました。2日目の基調講演には、脳科学者の茂木健一郎先生をお招きし、「食と脳」というテーマでお話し頂きました。両日合わせて、約1500人の来場者の方で賑わいました。

## ハープ演奏

プロハープ奏者の古佐小基史氏による演奏と語りは来場者を魅了しました。



## 講演会「台所はくすり箱」

- 講師/食養料理研究家 市川 加代子氏
- 相可高校食物調理科教諭 村林 新吾氏
- (株)マヌヤ代表取締役社長 浜田 吉司氏

講演会では、村林先生は相可高校での成功体験を、市川先生は食べ物の基本知識のほかに色・形・組み合わせの大切さなどを、浜田社長は食品企業の社会的責任について話され、各テーマについて、活発な議論がされました。



## その他講演会

- 「健康・医療への新たな挑戦 新しい価値を創るモクモク手づくりファーム」
- 「食と健康をめぐる問題を考えよう」鈴鹿医療科学大学・三重大学合同講演会



出展企業  
プレゼンテーション



三重の薬草文化展



主催者・企業展示

## メディカル研究会 オープンセミナー

- 統合医療研究会  
「統合医療ってなに？  
冷え性、肩こりの  
ツボによる健康法」
- 講師/研究会主査 佐々木 和郎氏  
(鈴鹿医療科学大学鍼灸学部長)



- みえ尾鷲海洋深層水利用促進研究会  
「海洋深層水の有効利用」
- 講師/研究会主査 前田 広人氏  
(三重大学大学院生物資源学研究科教授)



- 健康ツーリズム研究会  
「歩くことの幸せ  
～きずなの森を歩こう～」
- 講師/研究会主査 富樫 健二氏  
(三重大学教育学部教授)



## 有限会社細胞外基質研究所

バイオベンチャー  
産学官共同研究補助事業

### 平成20年度「IgA腎症の系統的診断を目指す新規分子素材の開発」

### 平成21年度「IgA腎症の系統的診断キットの開発と臨床評価に関する研究」

有限会社細胞外基質研究所では、平成20年度の共同研究補助事業で、「IgA腎症の系統的診断を目指す新規分子素材の開発」に取り組み、平成21年度には、継続案件として「IgA腎症の系統的診断キットの開発と臨床評価に関する研究」で、「高精度版、廉価普及版としての不全糖鎖測定キット」と「研究用試薬(ジャカリン誘導体)」の製品化に成功しました。

腎不全の患者さんの中には、根治療法が難しいとされているIgA腎症という病気をお持ちの方がいらっしゃいます。当社は、世界最大といわれる果物「ジャックフルーツ」に多く含まれるレクチンといわれる物質の一種「ジャカリン」を用いて、IgA腎症の治療方法の研究をしています。



ジャックフルーツ



不全糖鎖測定キット

## 共同研究補助事業 成果報告

メディカルバレープロジェクトでは、医療・健康・福祉分野における産学官の共同研究開発をする企業や研究者に対する補助・委託事業を行っており、その中から、2件の研究成果をご報告します。

## デリカフーズ株式会社

平成18～21年度  
創造的人材育成事業

### 「ヒト疾患モデルの薬理ゲノミクス研究」

デリカフーズ株式会社では、平成18年度から4年間にわたり、メディカルバレー創造的人材育成事業で、三重大学大学院医学系研究科と共同研究を行いました。研究は、肥満モデル・ゼブラフィッシュを用いて、血中の脂質濃度に対して抑制効果を発揮する野菜成分を探索し、その評価方法を確立することを目的としました。その結果、品種、栽培方法、土壌にこだわり、味に優れた高品質トマトが一般的なトマトより抗酸化力があることが明らかになりました。

4年の研究成果としては、研究内容だけでなく、産学連携による人材の交流という点で特に成果がありました。三重大学大学院医学系研究科の卒業生が当社グループに入社し、企業側が求める人材が効率よく採用できるようになりました。また、当社のビジネスに活用できる技術の取得のため、同科博士課程に研究員を派遣しています。



一般的トマト

高品質トマト